



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月19日

上場会社名 常磐興産株式会社

(コード番号: 9675 東証第一部)

(URL <http://www.joban-kosan.com/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 斎藤 一彦
 問合せ先責任者 役職名 取締役管理本部長 秋田 龍生 TEL(03)3663-3415

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 影響額が僅少なものについては、簡便な方法を採用しております。
- ②最近会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結 (新規) 一社 (除外) 一社
 持分法 (新規) 1社 (除外) 一社

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概要 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨表示)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年3月期第3四半期	33,566	2.0	969	△35.9	562	△18.9
平成18年3月期第3四半期	32,903	△4.9	1,512	—	693	—
(参考) 平成18年3月期	46,160		1,674		521	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
平成19年3月期第3四半期	△91	—	△1.	27	—	—
平成18年3月期第3四半期	2,475	—	34.	66	—	—
(参考) 平成18年3月期	△154		△2.	15	—	—

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 売上高以外の項目につきましては、平成18年度第1四半期より開示を行なっているため、平成18年度第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における我が国経済は、当初弱含みで推移した個人消費も増加傾向を示すとともに、企業収益の改善や設備投資の増加、雇用情勢の改善等引続き景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

①観光事業は、主力のスパリゾートハワイアンズにおいて、首都圏へのテレビ広告やパブリシティを実施するとともに、当社施設常磐ハワイアンセンター(現スパリゾートハワイアンズ)の誕生を描いた映画『フラガール』公開に合わせた広報活動や、映画『フラガール』のエッセンスを織り込んだ新ポリネシアンショー『Hula girl』が好評を博するなど堅調に推移いたしました。また、クレストヒルズゴルフ倶楽部は、宿泊ゴルフパックが減少したものの、ホテルクレスト札幌が道外観光客の集客が増加したことにより、当部門全体としては好調に推移いたしました。

この結果、利用人員は、ハワイアンズ（日帰り）が1,216千人（前年同期比18千人、1.5%増）、ホテルハワイアンズ（宿泊）が286千人（前年同期比3千人、1.1%増）、クレストヒルズゴルフ倶楽部が38千人（前年同期比3千人、6.8%減）、山海館が8千人（前年同期比1千人、11.4%増）、ホテルクレスト札幌が42千人（前年同期比3千人、7.2%増）となり、売上高は98億83百万円（前年同期比2億47百万円、2.6%増）となりました。

②卸売業は、燃料商事事業部におきまして、石油部門が主要納入先の需要減等により販売数量が減少したものの、石炭部門において電力及び一般産業向け販売数量が増加したことにより、売上高は増加いたしました。

③製造関連事業は、包装部材製造部門において、自動車及びIT・デジタル家電関連の製品等が好調に推移するとともに、鉄鋼機械部門については産業機械等海外への輸出が堅調に推移し、売上高は増加いたしました。

④建設・土木業につきましては、公共投資の抑制により市場規模は縮小し、受注競争激化に伴う落札率低下に歯止めがかからない厳しい状況で推移し、不動産事業につきましては、販売用不動産の売却収入減並びに賃貸ビル売却に伴う賃貸収入減により売上高は減少いたしました。またその他の事業におきましては、港湾運送・石油小売が順調に推移いたしました。

この結果当社グループの売上高は、335億66百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は、建設・土木業における業績悪化、不動産事業の賃貸ビル売却に伴う賃料収入の減少や販売用不動産売却減等により9億69百万円（前年同期比35.9%減）となり、経常利益は、借入金圧縮に伴う支払利息の減少や持分法適用会社の増加等により5億62百万円（前年同期比18.9%減）となりました。四半期純利益につきましては、昨年の資産売却に伴う特別利益計上という特殊要因がなくなったことや建設・土木業の業績悪化に伴う減損損失の計上等により、91百万円の損失（前年同期は四半期純利益24億75百万円）となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年3月期第3四半期	66,906	15,343	22.9	212.90
平成18年3月期第3四半期	75,496	17,682	23.4	245.33
(参考)平成18年3月期	66,474	16,219	24.4	225.04

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における総資産は、前連結会計年度に比べ432百万円増加し、66,906百万円となりました。これは主に、現金及び預金、たな卸資産の増加によるものであります。負債につきましては前連結会計年度に比べ1,336百万円増加し、51,563百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度に比べ876百万円減少し、15,343百万円となりました。これは主に、有価証券評価差額金の減少と、第3四半期純損失を計上したことによるものであります。

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

[業績予想に関する定性的情報等]

観光事業は好調に推移しているものの、建設・土木業においては引続き厳しい環境にあり、現在内容を精査中で明らかになり次第お知らせする予定であります。

以上

(添付資料)

四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨、%)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		(参考)
	平成19年3月期 第3四半期末	平成18年3月期 第3四半期末	金額	増減率	平成18年3月期 金額
(資産の部)					
I 流動資産	14,189	14,369	△ 180	△ 1.3	11,266
現金及び預金	4,697	5,705	△ 1,008	△ 17.7	3,716
受取手形及び売掛金	5,390	4,377	1,013	23.2	5,767
有価証券	55	35	20	57.1	54
たな卸資産	1,764	2,220	△ 456	△ 20.5	1,280
その他	2,302	2,069	233	11.3	490
貸倒引当金	△ 20	△ 38	18	△ 46.5	△ 43
II 固定資産	52,674	61,100	△ 8,426	△ 13.8	55,183
有形固定資産	42,706	49,877	△ 7,170	△ 14.4	43,875
建物及び構築物	15,114	19,642	△ 4,527	△ 23.1	15,876
機械装置及び運搬具	1,174	1,329	△ 155	△ 11.7	1,194
工具、器具及び備品	349	383	△ 33	△ 8.8	369
土地	26,059	28,495	△ 2,436	△ 8.6	26,434
建設仮勘定	9	26	△ 16	△ 63.7	—
無形固定資産	53	134	△ 81	△ 60.3	130
投資その他の資産	9,915	11,089	△ 1,173	△ 10.6	11,178
投資有価証券	8,757	9,649	△ 892	△ 9.2	10,012
長期貸付金	1,073	1,094	△ 21	△ 2.0	1,093
その他	1,160	1,450	△ 290	△ 20.0	1,180
貸倒引当金	△ 1,075	△ 1,105	30	△ 2.7	△ 1,108
III 繰延資産	42	26	16	62.2	23
資産合計	66,906	75,496	△ 8,589	△ 11.4	66,474
(負債の部)					
I 流動負債	25,441	35,029	△ 9,587	△ 27.4	26,537
支払手形及び買掛金	3,961	3,082	878	28.5	3,612
短期借入金	13,743	21,888	△ 8,144	△ 37.2	17,794
一年内償還社債	1,029	1,046	△ 17	△ 1.6	1,056
未払金	1,194	1,310	△ 115	△ 8.8	2,124
未払法人税等	129	2,520	△ 2,390	△ 94.9	123
賞与引当金	195	210	△ 15	△ 7.3	455
工事損失引当金	59	—	59	—	—
その他	5,129	4,972	157	3.2	1,371
II 固定負債	26,121	22,585	3,535	15.7	23,688
社債	2,315	1,528	787	51.5	1,565
長期借入金	15,410	15,708	△ 297	△ 1.9	12,960
預り保証金	1,729	2,068	△ 338	△ 16.4	1,852
負ののれん	43	—	43	—	—
連結調整勘定	—	15	△ 15	—	51
繰延税金負債	6,140	2,774	3,366	121.4	6,826
退職給付引当金	138	188	△ 49	△ 26.5	149
役員退職慰労引当金	232	260	△ 28	△ 10.8	258
環境対策引当金	103	—	103	—	—
その他	8	43	△ 35	△ 81.1	24
負債合計	51,563	57,615	△ 6,052	△ 10.5	50,226
(少数株主持分)					
少数株主持分	—	198	△ 198	—	27
(資本の部)					
I 資本金	—	10,221	△ 10,221	—	10,221
II 資本剰余金	—	1,764	△ 1,764	—	1,764
III 利益剰余金	—	4,707	△ 4,707	—	625
IV 土地再評価差額金	—	△ 2,538	2,538	—	△ 182
V その他有価証券評価差額金	—	3,589	△ 3,589	—	3,853
VI 自己株式	—	△ 61	61	—	△ 61
資本合計	—	17,682	△ 17,682	—	16,219
負債、少数株主持分及び資本合計	—	75,496	△ 75,496	—	66,474
(純資産の部)					
I 株主資本	12,455	—	12,455	—	—
資本金	10,221	—	10,221	—	—
資本剰余金	1,625	—	1,625	—	—
利益剰余金	671	—	671	—	—
自己株式	△ 63	—	△ 63	—	—
II 評価・換算差額等	2,858	—	2,858	—	—
III 少数株主持分	29	—	29	—	—
純資産合計	15,343	—	15,343	—	—
負債、純資産合計	66,906	—	66,906	—	—

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円未満切捨、%)

科 目	当四半期 平成19年3月期 第3四半期末	前年同四半期 平成18年3月期 第3四半期末	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	33,566	32,903	663	2.0	46,160
II 売上原価	29,046	27,674	1,372	5.0	39,558
売上総利益	4,520	5,229	△ 709	△ 13.6	6,601
III 販売費及び一般管理費	3,550	3,716	△ 166	△ 4.5	4,926
営業利益	969	1,512	△ 543	△ 35.9	1,674
IV 営業外収益	260	115	145	125.7	139
V 営業外費用	667	934	△ 267	△ 28.6	1,292
経常利益	562	693	△ 131	△ 18.9	521
VI 特別利益	174	3,801	△ 3,627	△ 95.4	4,453
VII 特別損失	895	755	140	18.6	1,354
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は税金等調整前四半期純利益(△)	△ 158	3,740	△ 3,898	—	3,621
法人税、住民税及び事業税	65	2,451	△ 2,386	△ 97.3	117
法人税等調整額	△ 134	△ 1,203	1,069	△ 88.8	3,635
少数株主利益	3	16	△ 13	△ 80.9	22
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失(△)	△ 91	2,475	△ 2,566	—	△ 154